

JAPIA-East マンスリーレポート

Mar. 2026



日本が冬季五輪最多のメダルを獲得したミラノ・コルティナ・オリンピックが終わりました。冬季スポーツはどんどん日本が強くなっていますね。自動車部品業界もどんどん強くなっていきたいものです。さて、今月から東日本支部の活動をマンスリーレポートとして皆様にお伝えします。2月の主な活動は以下のとおりです。

支部に中小企業委員会を設置の方針 支部企画委 令和8年度事業計画で

2月13日、東日本支部企画委員会が開催され、令和8年度事業計画が議論されました。講演会（10回）や工場見学会（5回）の開催に加え、中小企業会員を念頭に置いた活動を企画する場として、中小企業委員会（仮称）の設置や、サプライチェーン強化を目的として令和4年度から東北各県で行っている地元サプライヤーとの交流会を、本年秋に山形市で開催することなどが決まりました。本事業計画案は4月の運営委員会に上程される予定です。

自動車産業の将来を展望 各社に求められる変革への対応とは

2月18日、東日本支部主催講演会として、(株)ナカニシ自動車産業リサーチ代表 中西孝樹氏が、BEV/SDVへの進化を踏まえ「自動車産業の展望」と題して講演しました。

参加者からは「広い視点で業界を俯瞰されており、スケール感が違って沢山の気づきがあった」とのコメントもあり、デジタル革命本格期を迎える今、会員各社の戦略立案に有益な情報提供の場となりました。ハイブリッド方式による講演会終了後は、会場に集まった参加者・講師のネットワーキングもありました。

[講演会の資料はこちら](#)



路線バスの製造工程を見学 ジェイ・バス宇都宮工場で

2月24日、東日本支部主催工場見学会としてジェイ・バス(株)宇都宮工場を会員29社と訪問しました。いすゞ自動車、日野自動車向けの路線バスを製造する同工場の構体ライン⇒塗装ライン⇒艀装ラインを見学した参加者は、熟練作業員による手作業を中心とした高い技術力に支えられた生産体制に感銘を受けるとともに、見学後は、予定時間を大幅に超えるほど活発な質疑応答がなされ、参加者にとっては大変有意義な見学会となりました。

[見学会の報告はこちら](#)



総務委員が支部会員の個別訪問を開始 部工会活動の理解浸透に向けて

総務委員が、部工会活動の理解浸透を図るため、2月から会員企業の個別訪問を始めました。令和6年12月以降、会長・副会長、支部長・副支部長を中心に支部会員約250社のうち40社以上を訪問してきましたが、総務委員のサポートも得て、より多くの会員と忌憚のない対話ができることを期待しています。

☆☆☆☆☆☆

3月の予定（東日本支部）

19日（木）本部理事会（支部長、副支部長ほか出席予定）